

I U H P S T 分科会議事録

1. 会議名 史学委員会 I U H P S T 分科会 (第 2 4 期・第 3 回)
2. 日 時 2019 年 1 2 月 2 8 日 (土) 1 3 時 3 0 分～1 5 時 0 0 分
3. 会 場 東京大学駒場キャンパス 14 号館 3 階 308 会議室
(東京都目黒区駒場 3-8-1)

出席: 隠岐、河村、木本、佐野、橋本、兵藤

4. 議 題

- (1) 前回議事要旨 (別添資料参照) を承認した。
- (2) 橋本委員より、12 月に行われた DHST 評議会 (プラハ) の報告がなされ、2021 年の国際会議までのスケジュールが紹介された。
- (3) 2019 年 8 月 5-10 日に (プラハ・チェコ) 開催された DLMPST 国際会議 (CLMPST) 第 16 回国際科学・技術の哲学及論理哲学方法論会議) に代表派遣された岡本賢吾 (首都大学東京) 教授の報告が紹介され了承された (別紙参照)。同会議には、岡本賢吾・岡田光弘・齋藤政彦教授らが参加し、国際会議の日本 (神戸) 招致立候補活動を行ったことや、次回開催は 2023 年 8 月ブエノスアイレスに決定されたことなどが紹介され、日本招致には今後の期待が表明された (神戸 48 票 vs ブエノスアイレス. 56 票)。
- (4) 来年度国際会議の代表派遣候補者について、IUHPST 関係およびその他の 7 種類の来年度開催予定の国際会議が紹介され、代表派遣について審議、候補者の推薦を本年 12 月 24 日までにメールで行い、メール審議で決定することとした。
- (5) 今後の活動について
 - (5-1) 2020 年意思の表出 (答申 (日本学術会議法第 4 条) ・勸告 (日本学術会議法第 5 条) ・要望、声明、提言、報告、回答 (日本学術会議会則第 2 条)) について検討した結果、今期は特段の要望等を行わないこととした。
 - (5-2) 2021 年 Prag 第 26 回科学史技術史国際会議に向けて検討し、当面現地実行委員会の定めるスケジュールに従って、シンポや excursion 等の提案などに対応、また国内に取組を喚起することとした。
 - (5-3) その他の活動として、国際活動における科学史部門と科学基礎論・科学哲学での動向を効果的に国内活動に結びつける方法について今後も検討していくこととした。